



日刊労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話（鉄電）千葉 2935・2939番
(公) 043(222)7207番

98.2.19 No. 4738

大失業攻撃に立ち向かう新たな春闘を

3.8労働者決起集会へ



「会社あつて、
は終ったマ・
労働者」の時代
産う時代の到来



北海道拓殖銀行・山一証券の倒産は日本資本主義の終わりがはじまつたことを、誰の目にもわかるよう形でつき出した。大失業と戦争の時代への本格的突入は、政府・資本と労働者の利害が絶対に相容れない対立するものであることを暴いている。

日本の労働者も、労働運動の屈伏と後退の中で「会社あつての労働者」という企業主義的考え方の中で生きてきた。企業戦士といわれ、過労死に象徴されるように、会社のために身も心もすり減らし働いてきた。それでも頑張れば、「なんとか生活できる」「老後は年金でなんと暮らせる」と思ったからである。

しかし、今日の日本資本主義体制は破局的危機をむかえ、労働者を食わせることすら出来ない。資本は自分達の生き残りをかけて、首切り・低賃金・労働強化、そして戦後社会保障制度の解体など全面的な生活破壊に出てきている。「会社のために

う時代は完全に終った。生きるために闘う。闘うために団結を固める時代の到来である。その新たな春闘の第一歩だ。

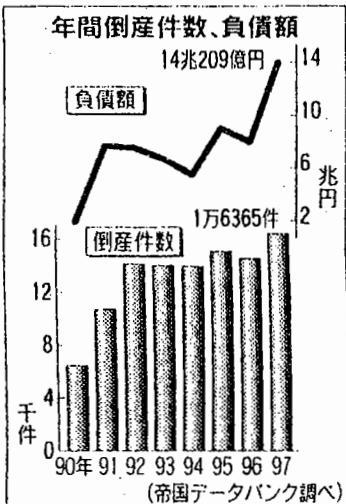
三・八労働者総決起集会の圧倒的成功—熱氣で、大失業攻撃に立ちむかう新たな団結、闘う潮流をつくろう。

日経連のペテン

怒りを廻へ

日経連は一月総会で、「国際競争力に勝つためには賃上げは論外」「日本の賃金は世界のトップ」というとんでもない主張を展開している。

まず、「世界のトップレベル」ということ自体ペテンである。消費者物価指数による購買力平価（一ドル一八〇円）で換算した賃金の比較は日本を一〇〇とすると、ドイツ一七二・アメリカ一四七・フランス一三六・イギリス一二〇であり、それに加

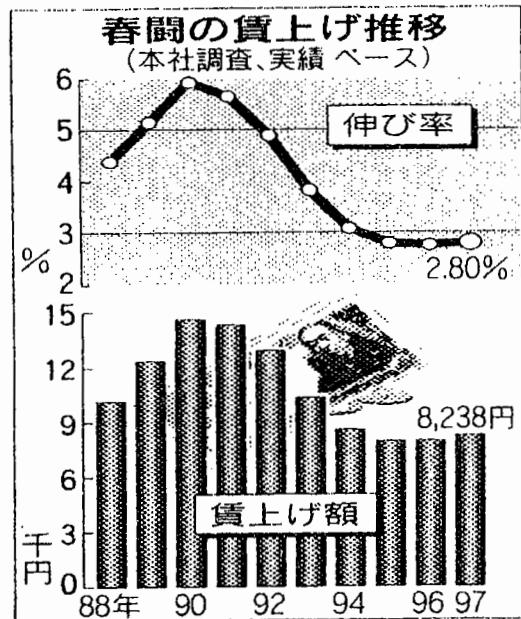


の成功をかちと」

3.8決起集会

98春闘四つ
課題

スト春闘貫徹へ



生活びきる賃金を
大幅賃上げ獲得へ

えて昨年の消費増税で実質賃金は大幅に低下しているのだ。こうした中で労働者の怒り、結集し団結を固め、それをおし不満はうすまいでいる。今最も求められているのはこの怒りを広げ、資本攻勢と対決して闘うことである。三・八集会の成功をもって、九八ストライキ春闘へ

名問題について国家的不当労働行為を徹底的に弾劾し、一〇四全七名の解雇撤回をめざし闘いぬくこと。

第二は、強制配転に風穴を開けること。JR総連革マル結託な体制を打ち破り、原職奪還・新職登用に向けて闘いぬこう。

第三は、反合運転保安闘争の功をもって、九八ストライキ春闘へ

闘へ

九八春闘は国鉄闘争勝利の道すじを大きくつける決定的闘いである。その第一は、一〇四七

徹へ！

この連合路線と対決し、闘う

労働運動の新しい潮流をつくり結集し、九八ストライキ春闘貫